

津山に残る建築たち

—再生保存と未来へつなげる活用—



J I A

2021年度 JIA 文化財修復塾 中国支部 現地講座2

2021年12月18日(土) CPD申請中

CDP 単位の必要な方は CPD 番号を申し込み書に記入下さい。



▲旧洋学資料館 (PORT ART&DESIGN TSUYAMA)



▲中島病院旧本館 (城西浪漫館)



▲津山文化センター

かつて県北の雄都と呼ばれた津山市の建物を廻る企画です。京都工芸繊維大学笠原先生の解説と旧洋学資料館と中島病院旧本館を改修工事監理された岸本氏の話をつまみながら皆さんと一緒に建物の再生保存や活用について考えてみましょう。

■タイムスケジュール

- 9:00 津山文化センター 見学と笠原氏によるレクチャー
- 12:00 昼食 — 移動
- 13:30 旧洋学資料館見学と笠原氏、岸本氏によるレクチャー
- 15:30 中島病院旧本館見学と笠原氏、岸本氏によるレクチャー
- 17:00 現場解散

■参加費：一般参加者 2000円(昼食、移動の費用は各自負担)

■定員：30名(先着順)

■問合せ：JIA 岡山地域会事務局 <okajia@optic.or.jp>

参加申し込みの方には事務局より連絡を差し上げます

講師 笠原一人氏

1970年神戸市生まれ。

1998年京都工芸繊維大学大学院博士課程修了。

2010-11年オランダ・デルフト工科大学客員研究員。

現在、京都工芸繊維大学助教。

近代建築史、建築保存再生論専攻。

著書に『ダッチ・リノベーション』(2021年)、

『建築と都市の保存再生デザイン』(2019年)、

『建築家浦辺鎮太郎の仕事』(2019年)ほか。

講師 岸本泰三氏

1980年 日本工業大学工学部建築学科卒業

1984年 株式会社 第一工房

1994年 岸本泰三建築設計室設立

旧洋学資料館改修工事設計監理

中島病院旧本館改修工事設計監理

津山文化センター — 昭和40(1965)年(川島甲士設計)津山城址内に複合文化施設として竣工。城址の石垣に呼応するような逆台形の外観が特徴的で、周りをとりまく回廊部分に取り付けられたコンクリート製の「斗栱」は、城址という歴史的遺構を意識した意匠。

旧洋学資料館 — 大正9(1920)年に銀行建築として建てられた天然スレート葺き入母屋造りの本館と、煉瓦組積造に切妻屋根瓦葺きの倉庫、土蔵造りの金庫とそれを囲む煉瓦組積造の塀で構成された建築群。

中島病院旧本館 — 大正6(1917)年に津山で最も古い病院に建てられた、エンタシスの柱で張り出したポーチ、レリーフ付のコーニス、その上の天然スレート鱗葺きのバル型の尖塔屋根を特徴とする木造洋風建築。

■注意事項

新型コロナウイルス感染予防対策として、当日はマスク着用必須。

受付時に検温、手指の消毒を行います。

37℃以上の発熱のある方は、参加をお断りさせていただきますので、予めご了承下さい。

主催：JIA 中国支部岡山地域会 TEL 086-233-1276 FAX 086-233-8351